

令和5事業年度

決算報告書

第20期事業年度

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

国立大学法人東北大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	47,673	48,512	839	(注1)
うち補正予算による追加	-	931	931	
施設整備費補助金	7,103	5,395	△ 1,707	(注2)
うち補正予算による追加	-	16	16	
補助金等収入	11,634	10,083	△ 1,550	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	53	23	
自己収入	54,816	58,828	4,012	
授業料、入学金及び検定料収入	9,199	9,467	267	
附属病院収入	44,710	46,610	1,900	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	905	2,750	1,844	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	36,973	38,634	1,661	(注6)
引当金取崩	907	951	44	
長期借入金収入	1,197	1,574	376	(注7)
目的積立金取崩	2,986	3,545	559	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	
出資金	1,632	549	△ 1,082	(注9)
計	164,954	168,129	3,175	
支出				
業務費	103,201	106,451	3,249	
教育研究経費	60,856	63,596	2,739	(注10)
うち設備災害復旧事業	1,969	2,362	393	
診療経費	42,345	42,854	509	(注11)
施設整備費	8,331	7,012	△ 1,318	(注12)
うち施設災害復旧事業	2,338	1,991	△ 346	
補助金等	11,338	9,197	△ 2,140	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	36,973	31,633	△ 5,339	(注14)
長期借入金償還金	3,477	3,675	198	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	1,632	544	△ 1,088	(注15)
計	164,954	158,514	△ 6,439	
収入-支出	-	9,615	9,615	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、当初予算段階では予定していなかった補正予算が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が839百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、(青葉山)総合研究棟改修(化学系)など一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が1,707百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、受入の減等により、予算額に比して決算額が1,550百万円少額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免交付金が273百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、入院患者数及び入院・外来単価の増等により、予算額に比して決算額が1,900百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、学校財産貸付料収入の増等により、予算額に比して決算額が1,844百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受入の増等により、予算額に比して決算額が1,661百万円多額となっております。
- (注7) 長期借入金収入については、前年度に発行した国立大学法人等債による調達資金を充当して事業を実施したこと等により、予算額に比して決算額が376百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初計画よりも事業等が進捗したことにより、予算額に比して決算額が559百万円多額となっております。
- (注9) 出資金については、株式売却に伴う分配金を受け入れた一方、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が1,082百万円少額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、人件費の増等により、予算額に比して決算額が2,739百万円多額となっております。
- (注11) 診療経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が509百万円多額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,318百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,140百万円少額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費等の繰越等により、予算額に比して決算額が5,339百万円少額となっております。
- (注15) 出資金については、計画の一部を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が1,088百万円少額となっております。